

池田町

# 特別栽培米の質確認

## 消費者ら18人現地で審査



特別栽培米としての基準をチェックする審査員  
31日、池田町藪田

産地を目指し、町内関係者のほか、スーパーの店長や販売店主ら十八人が審査に当たった。

町を挙げて「生命に優しい米づくり」に取り組む池田町で三十一日、収穫前のコメが基準に合致しているかを調べる審査会が町内水田で行われた。福井市内の消費者や名古屋市の流通業者らも審査に加わり、安全に栽培されたコメの品質を確認した。

同町は本年度から、化学肥料や農薬使用を抑えた特別栽培米を統一ブランド「うららの米」として生産、販売することとし、独自の基準を設定。消費者に信頼される

審査員は四班に分かれ、草刈りや倒伏状況など手入れが行き届いていないかをくまなくチェック。二十九日実施した審査と合わせ、特裁米に取り組んでいるすべての水田計百七十七軒を見回った。

同町では「七月の長雨でいもち病が多発し、農薬散布の相談が相次いだ」とし、申請時よりランクが下がる商品が増える予想。JA施設へ集荷される特裁米を食味計で計測したり病害虫検査し、ランクを最終認定する。